

平成18年度実績評価事務事業進行管理表

事務事業名	間伐等森林整備促進対策事業				財務会計上の位置付け	会計	款	項	目	細目	細々目	19予算額(千円)
部等名	産業経済部	課等名	林務課		包含する細々目	1	6	2	2	26	5	3,150
政策	1 多様な産業が発展できる経済力の強いまちづくり											
施策	11 事業者自らが実施するパワーアップ活動											
実施区分	継続	会計	一般会計	環境調整会議		不要						
		事業期間	17	年度～	年度	関連計画条列等						森林法、森林・林業基本法、伊那谷地域森林計画、飯田市森林整備計画、第6次間伐総合対策

【Do】(1)この事務事業は次の目的を達成することを目指します。

目的の記述	対象(人や物、自然資源など)	対象の大きさを表す対象指標名と単位	対象指標の数値				
	民有林	間伐が必要な区域の森林面積(ha)	現状又は19年度見込	23年度又は終了年度	23年度以前に終了は終了年度とする		
			3333				
			現状又は19年度見込	23年度又は終了年度			
	意図(成果は何か、対象をどうかえるか)	成果達成度を表す成果指標名と算定式・単位	成果指標の数値(実績・目標)				
	木材の搬出のコスト縮減や搬出間伐等の森林整備を促進させると同時に間伐材の利活用を推進する。	高性能林業機械による搬出間伐材生産量(m ³ /年)	18目標	300	最終目標		
			18実績		19目標	300	↑
		23目標	300	23実績		最終目標達成年度	
		搬出間伐による集材の間伐材生産性(m ³ /人)	18目標	30	最終目標		
18実績				19目標	30	↑	
23目標			30	23実績		最終目標達成年度	

(2)意図を達成するために以下のことを取り組みます。

手段の記述	事業の全体概要(補足説明)	具体的活動内容(やり方、手順、詳細)	活動量を表す名称・単位	活動量の値
	森林整備事業者が木材(間伐材)搬出や林内作業を効率的に行うため、新たに高性能林業機械を導入することの支援を行い、間伐材の搬出に伴うコスト軽減と生産性の向上を図る。	林業機械導入事業補助金 導入機種 スイングヤーダ 1台 事業主体 南信州森林事業協同組合	高性能林業機械導入台数(台)	1
	18年度の実績			
	19年度計画	林業機械導入事業補助金 導入機種 4tユニック・トラック 1台 事業主体 南信バイオマス協同組合	木材運搬用トラック導入台数(台)	1

<金額の単位:千円>		18決算額(見込)	19予算額(当初)
事業費	特定財源	7,556	3,150
	国庫支出金		
	県支出金		
	起債		
	その他		
一般財源			
事業費計(A)	7,556	3,150	
人件費	正規職員所要時間	18年度 50	19年度 50
	臨時職員等所要時間		
	人件費計(B)	179	179
	トータルコストA+B	7,735	3,329

特定財源内訳や補足事項	間伐等森林整備促進対策事業(森林づくり交付金(国4/10))
-------------	--------------------------------

(3)この事業目的の達成は、次の上位(施策や主体の役割)目的の達成に結びつきます。

目的の記述	結果 この事務事業の施策(基本事業)の目的	上位成果指標(施策又はムトス指標)と単位	上位成果指標の数値			
	出荷額を高める活動をする	林業生産額(億円)	現状値	7	19実績	
			20実績		21実績	
			22実績		23目標	7.5
	経済的自立度(%)		現状値		19実績	
			20実績		21実績	
22実績				23目標	60	

この事業を開始したきっかけ	事業を取り巻く状況の変化	事業に対する市民や議会の意見
木材生産や公益的機能の高度発揮で実施している森林整備(間伐)だが、これを効率良く、かつ、作業者の負担軽減、将来の木材搬出のコスト縮減を図るうえで、林業事業体における省コスト機械化することが重要であるが、市内事業者は林業低迷などから現状では十分な経営基盤が整っていないため	外国材輸入や木材価格の低迷のため、近年では木材生産目的の素材生産事業者が激減し、かつ、将来的にも意欲が薄れてきた。しかしながら、地域産木材を地域で利用することが見直され、産業振興を図るうえで森林資源(特に間伐材など未利用資源)を有効に活用する必要性は増してきている。	市民、議会から森林の手入れと同時に地域産材の活用は重要であるという認識があり、また、林業関係者および森林所有者からの木材利用の助成制度等の要望が強い。

【See】18年度の振り返り

目的 妥当性 評価	この事業の意図の達成が、結果(上位目的)に結びついていますか？	(評価) 結びつく (その理由)	有効性 評価	成果をさらに向上させる余地はありますか？	(評価) 余地がある (その理由)
	対象の見直し、拡大、縮小の必要性はありますか？	(評価) 必要性がない (その理由)		廃止・休止した場合の影響はありますか？	(評価) 影響あり (その理由)
	意図の見直しの必要性はありますか？	(評価) 必要性がない (その理由)		他に類似事業はありますか？また統合の可能性はありますか(市以外の取組も含む)	(評価) 類似事業なし (類似事業名、理由)
	市が関与する必要性はありますか？(市が税金を投入すべき事業ですか)	(評価) 必要ある (その理由)		成果を下げずに、事業費や人件費の削減は可能ですか？	(評価) 不可能 (その理由)
			公平性 評価	受益者は誰ですか？また、負担の是非、程度は妥当ですか？	(評価) 妥当である (受益者とその理由)

【Plan】改革改善

今後の事業の方向性	何を、いつまでにどうするのかの改革改善案
<input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的見直し <input type="checkbox"/> 別事業に統合 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持	間伐材をより多く低コストで搬出するには列状間伐の実施が不可欠。また、機械が充分活用されるよう搬出間伐量を確保できるか精査している。
上記の改革改善案を実施する際、想定される課題とその克服方法	機械の固定経費等減価償却(補助金の残りの自己資金は借入金)で経営の圧迫が懸念され、ほとんどの事業者は機械導入に踏み切れない。

【補足事項環境側面】

(1) 環境影響評価の必要性判断	(2) 必要性な場合の実施事由
(3) どのような点に配慮し事業に取り組みましたか？	

【指摘事項】

施策マネジメント会議	
施策評価会議	
第5次基本構想基本計画推進委員会	